

V 出願資格

本学へ出願できる者は、次のいずれかに該当する者となります。

1 一般入試

- ① 高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」といいます。）を卒業した者及び2020年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2020年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者

学校教育法施行規則

第150条 学校教育法第90条第1項の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 1 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 3 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 4 文部科学大臣の指定した者
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定（以下「旧検定」という。）に合格した者を含む。）
- 6 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であつて、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 7 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

（注）同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行います。

※申請期間及び申請書類の送付先等

本学の個別の入学資格審査により、入学資格の認定を受けようとする者は、2019年8月23日（金）までに申請するものとします。

ただし、他大学において入学資格の認定を受け、2020年度（令和2年度）大学入試センター試験に出願し、受理された者については、2020年1月15日（休）までに申請するものとします。

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定書交付申請」と朱書し、本学入試課に送付してください。

※上記出願資格以外に、2020年度（令和2年度）大学入試センター試験の受験を要する教科・科目（26、27ページ参照）のうち一つでも受験しなかった者は、失格となりますので注意してください。

2 特別入試及び私費外国人留学生入試

33ページから51ページを参照してください。

VI 選抜方法

入学者の選抜は、一般入試及び特別入試並びに私費外国人留学生入試により行います。
本学では、大学入試センター試験の過年度成績は利用しません。

一般入試

- (1) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績、調査書の内容を総合的に判断し、合格者を決定します。
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目等は、26、27ページを参照してください。
医学部医学科においては、入学志願者が、募集人員を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合（前期日程は募集人員の約5倍、後期日程は約10倍）に、2段階選抜を実施します。
- (2) 本学が課す大学入試センター試験の受験を要する教科・科目と個別学力検査等の教科・科目等のうち一つでも受験しなかった者は、失格とします。
- (3) 採点・評価基準、合否判定基準は、募集要項に掲載します。
- (4) 後期日程入学手続締切期日（2020年3月27日(金)）までに入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、原則として追加合格者を決定し補充しますが、欠員補充第2次募集を行うこともあります。
- (5) 追加合格者の決定は2020年3月28日(土)から開始し、実施の有無については、3月28日(土)に本学ホームページでお知らせします。
- (6) 追加合格者には、電話連絡により入学の意志を確認し、3月31日(火)を入学手続締切日とします。

定員補充について

特別入試の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、以下の入試で不足分の合格者を補充します。

○教育学部

推薦入試Ⅰ及びAO入試Ⅰ → 一般入試（前期日程）

○芸術地域デザイン学部

推薦入試Ⅰ → 一般入試（前期日程）

AO入試Ⅰ → 一般入試（前期日程）

○経済学部

推薦入試Ⅰ → 一般入試（前期日程）

○医学部

推薦入試Ⅰ（看護学科） → 一般入試（前期日程）

推薦入試Ⅱ（医学科） → 一般入試（後期日程）

○理工学部

推薦入試Ⅰ及びAO入試Ⅰ → AO入試Ⅱ

AO入試Ⅱ → 一般入試（前期日程）

○農学部

推薦入試Ⅰ → AO入試Ⅱ

AO入試Ⅰ及びAO入試Ⅱ → 一般入試（前期日程）

特別入試及び私費外国人留学生入試

33ページから51ページを参照してください。

一般入試

日程	学科・課程等	個別試験																満点	教科数	特色加点	配点比率	備考							
		外国語				国語		数学					理科				総合問題						小論文	実技	面接	調査書	その他		
		コ/英Ⅰ	コ/英Ⅱ	コ/英Ⅲ	英語表現Ⅰ	英語表現Ⅱ	国語総合	国語表現	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B	物理基礎・物理	化学基礎・化学	生物基礎・生物												地学基礎・地学	
前期	幼小連携教育コース	○	○	○	○	○	△	△	△	△															400	2	9:4	前期日程の教育学部は「英語」必須。 「国語」、「数学」は1科目または2科目選択可。 「国語」と「数学」の2科目を受験した場合は 高得点科目を採用	
	小中連携教育コース	初等教育主免専攻	○	○	○	○	○	△	△	△	△															400	2		9:4
		地歴・公民 2科目型	○	○	○	○	○	△	△	△	△															400	2		9:4
		理科 2科目型	○	○	○	○	○	△	△	△	△															400	2		9:4
		中等教育主免専攻	○	○	○	○	○	△	△	△	△															400	2		9:4
	芸術表現コース	3科目型																	○							500		5:5	実技試験は描写表現3つから選択 (30ページ参照)
		4科目型																	○							400		6:4	実技試験は発想表現必須 (30ページ参照)
	地域デザインコース																	○							400		7:4	総合問題については30ページ	
	経済学科 経営学科 経済法学科	○	○	○	○	○																			100	1	7:1		
	医学科	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○						○	○		400	3	63:40		
看護学科																		○		○	○			260		65:26			
理工学科								○	○	○	○	○	○	○	○									600	2	3:2	特色加点については29ページ		
生物資源科学科	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○									400	2	3:2			
後期	学校教育課程 幼小連携教育コース	○	○	○	○	○															○			400	1	10:4			
	学校教育課程 小中連携教育コース 初等教育主免専攻	○	○	○	○	○															○			400	1	10:4			
	学校教育課程 小中連携教育コース 中等教育主免専攻	○	○	○	○	○															○			400	1	10:4			
	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース																				○			300		5:3	実技は描写・発想表現から1 (30ページ参照)		
	芸術地域デザイン学科 地域デザインコース	○	○	○	○	○																	○	300	1	6:3	その他は問題解決・ 提案力テスト(30ページ参照)		
	経済学科 経営学科 経済法学科																				○			100		7:1			
	医学科																					○	○	280		63:28	出願後に 自己推薦書を提出		
	看護学科																					○	○	280		59:28	出願後に 自己推薦書を提出		
	理工学科								△	△	△	△	△	△	△									400	1	3:2	「数学」、「物理」、「化学」から1科目または2科目選択。2科 目受験した場合は高得点科目を採用。ただし「物理」と「化 学」の2科目選択は不可。特色加点については29ページ		
	生物資源科学科								○	○	○	○	○	○	○									200	1	11:4		特色加点については29ページ	

2 英語外部検定試験の一般入試での利用について

積極的に英語の技能を活用し、主体的に考えを表現することができる学生を求めるとともに、英語のコミュニケーション能力を適切に評価するため、英語外部検定試験の結果を一般入試（前期日程及び後期日程）に利用できます。

(1) 利用できる検定試験（4技能受験必須）

- ・ 実用英語技能検定（CSE2.0）
- ・ TEAP（4技能）
- ・ GTEC（4技能）※CBTタイプを含む。オフィシャルスコアに限る。
- ・ TOEFL iBT

(2) 利用方法

- ・ 検定試験の成績を換算表に基づき、大学入試センター試験（英語）の得点に換算し、大学入試センター試験の成績とみなして合否判定に利用します。
- ・ 検定試験の換算点が、大学入試センター試験の得点より高い場合に、検定試験の換算点を採用します。

(3) 換算表

実用英語技能検定 (CSE2.0)	TEAP (4技能)	GTEC (4技能) ※CBTタイプを含む	TOEFL iBT		センター試験得点率
2,200以上	270以上	1,140以上	61以上	⇒	90%
2,100-2,199	235-269	1,080-1,139	52-60	⇒	80%
2,000-2,099	220-234	1,010-1,079	45-51	⇒	70%

(4) 申請方法

- ・ インターネット出願登録時に検定試験の種別及び個人番号 (ID)等を登録してください。実用英語技能検定申請時の入力例：「2019(受験年度)」,「1(受験回)」,「2000001(個人番号)」
入力がない場合や間違った情報を登録した場合、登録した検定試験は利用できない場合があります。
- ・ 受験した検定試験の成績証明書等（写し可とするが、TOEFL iBT・GTECは原本のみ）を出願書類送付用封筒に同封してください。
- ・ 申請できる検定試験の成績は1件です。また、有効期限は、2018年4月1日以降に受験した検定試験に限ります。
- ・ 成績証明書等が出願期間内に届かなかった場合は、登録した検定試験は利用できません。

(5) 大学入試センター試験の受験について

- ・ 英語外部試験の利用を申請した場合においても、大学入試センター試験の英語（リスニングを含む）を受験しなかった場合は失格となります。

3 特色加点制度について（一般入試）

「特色加点」とは、志願者の積極的なアピールと高等学校入学以降の主体的な活動を喚起することを目的とした制度です。センター試験、個別試験の合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、書類審査として加点枠を設けます。志願者の申請を原則とし、申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。

志願者が取り組んできた様々な活動や実績を踏まえた申請内容を評価の対象とします。申請する活動・実績は、高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や実績であれば何でも構いません。志望学部の学びを理解し、入学後に何を生かせるかなどをしっかりと考えた上で積極的にアピールしてください。申請内容を補完する根拠となる資料等も重要です。アドミッション・ポリシーで示す「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」について総合的に評価します。活動・実績の具体例として、研究活動（探究型学習、課題研究、各種教育プログラムなど）、課外活動（部活動や生徒会活動など）、社会活動（ボランティア、地域活動など）、資格・検定取得、コンテスト等の実績、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。

「特色加点」として申請できる取り組みの年限は、高等学校入学後のものとします。過年度卒業者は卒業後の取り組みでも構いません。

【合否判定について】

センター試験及び個別学力検査（個別試験）の成績、並びに「特色加点」により合格者を決定します。合否判定は以下の手順で実施します。

理工学部

- (1) センター試験得点と個別試験得点を合計した成績上位者において、「特色加点」の配点により合格の可能性が生じる受験者までを「1次選考適格者」とします。
- (2) 「2次選考」は、1次選考適格者に対し、センター試験得点と個別試験得点の合計点に、「特色加点」内容の採点結果を加えた総合得点にて合否判定を行います。その際、「特色加点」分を加えなくても合格基準点を上回る受験者に対しては「2次選考」を免除し、合格者とします。
- (3) 「特色加点」を申請しなかった場合は、「特色加点」分は0点として扱います。
※合否結果の通知は最終結果のみとし、1次選考・2次選考別には行いません。

農学部

- (1) 受験者のうち、申請者全員を採点し、合否判定を行います。
- (2) 「特色加点」を申請しなかった場合は、「特色加点」分は0点として扱います。

4 2020年度個別学力検査等の出題範囲及び試験方法について

(1) 数学

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

(2) 総合問題

文章（英文を含む）や資料（図表、写真、絵、地図など）を題材に、読解力、論理的思考力、分析力、考察力を問います。

(3) 問題解決・提案力テスト

地域や社会に関する課題や事象に対する解決策や提案を、文章や図表、絵などにより、解答用紙に簡潔にまとめたものについて、企画力、発想力、表現力等を含む問題解決能力及び提案力を総合的に評価します。

筆記用具については募集要項に掲載します。

5 芸術地域デザイン学部芸術表現コース実技検査の選択方法について

(1) 前期日程

出願時に「3科目型」を選択した受験者には実技検査（描写表現）、「4科目型」を選択した受験者には実技検査（発想表現）を課します。実技検査（描写表現）では、1)～3)のいずれかを出願時に選択します。出願後の変更はできません。

実技検査（描写表現）

1) 木炭による石膏デッサン 2) 鉛筆による石膏デッサン 3) 水彩による静物着彩

実技検査（発想表現）

プレゼンテーションボードの作成

持参道具については、募集要項に掲載します。

(2) 後期日程

出願時に1)～4)のいずれかを選択します。出願後の変更はできません。

実技検査（描写表現）

1) 木炭による石膏デッサン 2) 鉛筆による石膏デッサン 3) 水彩による静物着彩

実技検査（発想表現）

4) プレゼンテーションボードの作成

持参道具については、募集要項に掲載します。

6 2020年度（令和2年度）大学入試センター試験の科目選択及び得点の取扱い等について

(1) 地歴・公民

1) 学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に2科目受験した場合の取扱いについては、「第1解答科目」の得点を採用します。

学部・学科等が指定した科目は、必ず「第1解答科目」で受験してください。

2) 学部・学科等が指定する科目を「第1解答科目」で受験せず、「第2解答科目」で受験した場合は、0点として取扱います。

なお、受験が認められていない同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択した際に、「第1解答科目」を学部・学科等が指定していない科目を受験し、「第2解答科目」で受験した場合は、無資格として取扱い、検定料の一部を返還します。

*参考（取扱い例）

地歴・公民の指定科目	第1解答科目 の受験科目	第2解答科目 の受験科目	得点の取扱い
世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1	世B	地理A	第1解答科目の「世B」を採用
	地理A	世B	地歴・公民の得点は0点
	世A	世B	無資格とします。

(2) 理科

- 1) 「基礎を付した科目」とは、「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4出題科目のうちから2出題科目を選択することを表します。
- 2) 「基礎を付していない科目」とは、「物理」, 「化学」, 「生物」及び「地学」を表します。
- 3) 学部・学科等が「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」から2科目と指定する場合に「物理」と「物理基礎」など、同一名称を付した科目を選択することはできません。
- 4) 学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点を採用します。また、「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」を受験した場合は、高得点を採用します。

(3) 数学

- 1) 学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に2科目受験した場合は、高得点の科目を採用します。
- 2) 医学部, 理工学部, 農学部については、「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

(4) 複数教科・科目間の選択にかかる得点の取扱いについて（指定科目数を超えて受験している場合）

複数教科間の科目採用については、高得点順とします。ただし、地歴・公民及び理科（「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」を受験した場合を除く。）においては、「第1解答科目」を優先します。

(5) 外国語

外国語において英語を受験した者については、リスニングを受験してください。リスニング未受験の者については、失格とします。

（大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。）

筆記試験200点満点、リスニング50点満点を以下のとおり換算し、利用します。

学 部 等	日 程	筆 記 試 験	リ ス ニ ン グ	合 計
教育学部	前 後 期 期	160点	40点	200点
芸術地域デザイン学部	前 後 期 期	160点	40点	200点
経済学部	前 後 期 期	160点	40点	200点
医学部	前 後 期 期	112点	28点	140点
	推 薦 II	128点	32点	160点
	佐賀県推薦			
理工学部	前 後 期 期	160点	40点	200点
	後 後 期 期	120点	30点	150点
	A O II	200点	50点	250点
農学部	前 後 期 期	80点	20点	100点
	生物科学コース 生命機能科学コース	A O II	40点	200点
	食資源環境科学コース			

※リスニングを免除された者については、各学部とも、筆記試験（200点満点）の得点を合計欄の点数に換算し、利用します。